

平成 29 年度第 2 回札幌市生涯学習センター運営協議会 概要録

- 1 開催日時 平成 29 年 12 月 15 日（金）10 時 30 分から 12 時 00 分まで
- 2 開催場所 札幌市生涯学習センター 3 階役員会議室
（札幌市西区宮の沢 1 条 1 丁目 1 番 10 号）
- 3 出席者 委員 7 名（敬称略）
佐久間 章、井上 美豊子、原田 稔、安田 敦司、大場 智裕、成田 正生、楠 幸恵
- 4 会議内容
 - (1) 開会の挨拶として
札幌市生涯学習センター運営協議会委員長 佐久間 章(IT 技術の発展と教育現場の関係について)
 - (2) 管理業務の状況の報告
 - ① 平成 29 年度（8～11 月分の事業報告）（質疑応答順）
 - ② 施設利用料収入等（4～11 月分）について（成田委員）
貸室利用統計（4～11 月分）について（成田委員）
平成 27 年度と平成 28 年度実施した利用者アンケートに対する報告
利用者の声（苦情・要望等）への回答について（8 月～11 月）
※ ①について楠委員、②について成田委員から報告が行われた。

(ア) ①についての主な意見

大場委員)	自主事業と指定管理業務と別に報告するのは問題ないが、仕訳をしっかりととして事業を報告してほしい。 また、資料とスライドの説明の関係性が分かりにくいので、もう少し分かりやすい形を目指してほしい。
佐久間委員)	朝活講座や企業連携に限らず、地域連携を総括する窓口を作り、周知することを検討してはどうか。
原田委員)	よい企画の持ち込みが前提とはなるが、内部だけでなく外部の意見・考えの取り入れも重要なものになると考えられる。 サークル発表会について、広報がとても遅れており、参加数が少なくなってしまう。また、アンケート用紙も入っていなかった。なので、来年度以降についてはより多くの人に参加できるように計画をして欲しい。

(イ) ②についての主な意見

佐久間委員)	利用者アンケートに対する報告は他の委員からの意見でも出ているが、より分かりやすく表記して欲しい。 また、実施方法についても代表者だけの意見かサークルの総意なのか等でより深く考察すべきと考えられる。
大場委員)	過去から同様な質問事項を設けているのであれば、その複数年の経過が分かるような報告がよろしいのではないかと？
大場委員)	利用者の声（苦情・要望等）への対応について、投書箱の設置場所の案内をより分かりやすく表示するなど、工夫が必要になると考えられる。
原田委員)	ホームページの運用は年々、Facebook などの SNS の発達により閲覧数が落ち込みやすいと考えられる。よって、インターネットではホームページ以外での意見募集も考慮すべきではないかと？

 - (3) 管理運営水準の維持向上に向けた協議
 - ③ 前回の運営協議会での意見交換について
※ 成田委員から報告が行われた。

井上委員)	ドラムの設置について、回答をいただいているが、サークルメンバーからはバンドサークルさんの利用率の説明があったのか？ また、音楽スタジオはバンドメンバーを優先するのか？という質問が出た。音楽スタジオに利用人数に制限はあるのか？
成田委員)	詳細な利用率の計算は実施してはおりませんが、利用状況を鑑み、複数のバンド団体が利用しているという現状から、現行のままの扱いとさせていただければとの回答をさせていただきました。

- 音楽スタジオの利用人数制限は設けておりません。ただし、人数と利用内容を確認し、適した貸室を案内するようにしております。
- 井上委員) 歌に適した部屋はないのか？
貸室スタッフは、ドラムセットの置き場がなく困っている利用者を実際に見たうえで意見をしているのか？
また、今回はドラムの置き場所を互いに融通しあえる場所がないかという意味を込めて質問させてもらっていたのだが、いかがか？
- 成田委員) 貸室職員は部屋に呼ばれた際や、見回りの際に状況を確認させていただいております。
また、楽器屋等にも利用方法について確認し、設置場所からあまり動かさないのが基本といわれているため、現状維持となっております。
バンド利用よりも、歌やコーラスが多いのが現状となってくれば、対応を変える必要はないが、調査・対応の検討を進めてまいります。
- 井上委員) 2階のサークルポスター紹介について、廊下は明るいがそれぞれのポスターはまだ高齢者には暗いのではないと思う。
- 井上委員) 職員の意見対応について、前回の意見については利用者がもっと軽く指摘した事項への対応を吸い上げて対応するシステムはあるのか？
ということで質問している。
例えば、前回の意見では、荷物置き場が受付に欲しいと希望した場合、すぐに対応してくれた。
しかし、貸室受付において利用に関する注意事項が何枚も印刷され、要らないと言っても「決まりです」と言って改善されない。
また、その用紙を留める際も針のあるホチキスで留められており、毎月の処分で作業しづらい。
- 佐久間委員) 初めての利用者については説明が必要になるのは分かるが、継続した利用があるところでは、もっと省いてもよいのではと思う。
- 大場委員) 同日に複数の申し込みをしていただくのであれば、省略するなど検討して欲しい。
- 原田委員) 禁煙マークについて、対応しておりよい状況になっていると考えられる。
また、前回の指摘事項としての講師バンクの顔写真利用については、センター側から利用したいとの声掛けがあったから質問していた。
講師バンクとして登録はされているが、利用されたのは2回しかない。より活性化することがあればいいと感じた。
最後に、運営協議会については写真を掲載するなど、情報発信をすべきと考えられる。
- 安田委員) 館内の喫煙表示について、喫煙場所以外の喫煙があるという苦情もあることから、より喫煙場所への誘導を増やすなどの対応があればよいと考えられる。
- 大場委員) 貸室受付で配布するアンケートについて、いつ頃から新しいものにする予定なのか？
- 佐久間委員) そのアンケートについて、利用人数を複数回聴いているのはなぜなのか？各部屋で人数が決まっており、それを対応しているのか？
また、実際に利用している人数は意図的に少なく答えたりする団体へのチェックはないのではないのか？
- 成田委員) まずアンケートについての様式は内部で協議し、来年4月からの実施を目指して動きたいと考えております。
また、利用人数を聴いて確認しており、これは避難誘導時にも役立つ情報として利用している部分もあります。
利用実態とは異なる申請を行う利用者には職員等の巡回等で主催者にお声掛けさせていただいており、貸室の鍵返却時に確認対応していることもありますが、全体を通しまして、対応を検討いたします。
- 原田委員) まだ、玄暎表記が残っているところがある。しっかりと対応して欲しい。
- 成田委員) 対応させていただきます。
- 原田委員) センターには、ビデオクルーというボランティア団体があることを

聴いた。これまでは、全く知らなかった。個人のつながりで初めて分かったが、そういった特殊技術を持っている団体があるのであれば、PR 活動して欲しい。

成田委員)
井上委員)

積極的に PR してまいります。

Web 仮予約を利用する場合に、4 件しか申し込みが出来ないので、対応してもらうことは出来ないのか？

成田委員)

また、このことを窓口で伝えたが、組織内で共有されているのか？
初期設定は確かに 4 件ですが、その他にも意見をいただいているところでございますので、順次対応を検討したいと思います。

井上委員)

窓口の業務日報等で対応いたします。

成田委員)

貸室の予約受付時で、決定している物件料金まで納めることは出来ないのか？

物件料金は払戻しが出来ないもので、本来は利用後に支払いただくこととなっておりますが、ご意見はもっともですので検討してまいります。

井上委員)

センターで Wi-Fi が利用出来ればありがたいが、増えたりしないのか？

成田委員)

Wi-Fi は西区区役所が設置を実施しており、当センターではなかなか実施出来ない規模の状況となっております。

佐久間委員)

次回までにしっかりと調査し、頂いた意見に対しての答えとして欲しい。

大場委員)

運営協議会は、様々な立場の委員から意見をいただいて施設運営をよりよくするために設置されているので、今回の会議でも利用者数や利用率、アンケート集計結果、ホームページの閲覧数などを資料として用意してもらうことでより積極的な意見交換を行うことができると考えている。

成田委員)

今後は会議資料として、意見交換のもととなる各種データを用意していただきたい。

報告方法の検討をし、より分かりやすく意見が活発になるように努力いたします。

- (4) その他について
- ① ホールのリハーサル・練習等についての新規割引制度の導入について
 - ② サークルロッカーへの新規大型ロッカーの導入検討について
 - ③ ちえテラス及びタリーズコーヒージャパン開設 1 周年記念について
 - ④ メディアプラザの開館時間の変更について
- ※ ①～③について成田委員、④について楠委員から報告が行われた。

以上をもって、平成 29 年度第 2 回札幌市生涯学習センター運営協議会の議事の全部を終了した。
今後は、各委員からいただいた意見を踏まえ、センター運営のより一層の改善に努めてまいります。